



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井愉三
問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 川上康夫 TEL 03(6432)9500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	6,720	5.7	△87	—	△105	—	△72	—
2023年9月期第3四半期	6,358	43.5	246	△26.8	270	△14.9	169	△14.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	△24.12	—
2023年9月期第3四半期	52.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	3,696	2,271	61.5
2023年9月期	4,409	2,392	54.3

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 2,271百万円 2023年9月期 2,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	7.0	△400	—	△420	—	△370	—	△122.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期3Q	3,235,000株	2023年9月期	3,235,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	216,439株	2023年9月期	240,049株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期3Q	3,012,712株	2023年9月期3Q	3,194,511株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	5
（第3四半期累計期間）	5
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	6
（表示方法の変更）	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	6
（セグメント情報等の注記）	7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）におけるわが国経済は、春闘の賃上げ、株式市況の活況、インバウンド需要の拡大、定額減税の実施など明るい兆しも見える一方、日銀のマイナス金利政策解除、急激な円安と人手不足を背景とした諸物価高騰も見られ、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした環境下、当社はクリスマスやバレンタイン等の季節イベントを始めとして、新企画、新商品の提案に積極的に取り組み、主要顧客である100円ショップ各社に向けてライフスタイル雑貨の販売に注力した結果、前年同期を上回る販売となりました。

一方、損益につきましては、販売数量増加や個別商品の採算性を重視した販売の効果がありましたが、売上原価の大幅な上昇により減益となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績の概要は以下の通りであります。

(千円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間	6,720,083	△87,284	△105,311	△72,665
前第3四半期累計期間	6,358,436	246,088	270,920	169,108
増減額	361,646	△333,372	△376,232	△241,773
増減率(%)	5.7	—	—	—

売上高は、前年同期比361,646千円増(5.7%増)の6,720,083千円となりました。

これは、ハロウィン、クリスマスのイベント関連商品の販売が前年同期をやや上回る水準で進捗したこと、前期から引き続きキッチン用品、ライフスタイル雑貨等の販売が好調に推移したことによるものです。

なお、当第3四半期累計期間におけるライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、下表の通り、「ワンプライス商品」が6,359,355千円(前年同期比5.7%増)、「プチプライス商品」が360,727千円(前年同期比5.5%増)となりました。

(千円)

	ワンプライス商品	プチプライス商品	合計
当第3四半期累計期間	6,359,355	360,727	6,720,083
前第3四半期累計期間	6,016,515	341,921	6,358,436
増減額	342,840	18,805	361,646
増減率(%)	5.7	5.5	5.7

営業利益は、前年同期比333,372千円減少の87,284千円の営業損失となりました。

これは、売上高増加による増益効果に加え、採算重視の販売の取り組みも一定の成果がありましたが、急激かつ大幅な円安の影響、物流量増加による物流関係費用の増加及び労務費の増加、営業循環から外れると見込まれる商品在庫の評価引き下げによる損失等の減益要因があったことによるものです。

経常利益は、前年同期比376,232千円減少の105,311千円の経常損失となりました。

これは、営業利益の減少333,372千円があったことに加え、営業外収益において前第3四半期累計期間には為替差益24,988千円がありましたが、当第3四半期累計期間は為替差損が13,819千円と為替差損益の差が38,807千円となったことが主なものです。

以上の結果、四半期純利益は、前年同期比241,773千円減少の72,665千円の四半期純損失となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,537,110千円となり、前事業年度末に比べ702,739千円減少いたしました。これは主に現預金が130,578千円減少、受取手形及び売掛金が91,874千円減少、棚卸資産が498,255千円減少したことによるものです。固定資産は159,625千円となり、前事業年度末に比べ9,653千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が5,549千円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、3,696,735千円となり、前事業年度末に比べ712,393千円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は783,504千円となり、前事業年度末に比べ945,021千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が199,599千円増加、未払金が83,644千円増加した一方、短期借入金が1,200,000千円減少したことによるものです。固定負債は641,394千円となり、前事業年度末に比べ353,496千円増加いたしました。これは長期借入金が350,566千円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、1,424,899千円となり、前事業年度末に比べ591,525千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,271,836千円となり、前事業年度末に比べ120,868千円減少いたしました。これは主に四半期純損失72,665千円に加え、配当金支払71,878千円により利益剰余金が144,544千円減少、繰延ヘッジ損益が8,092千円増加、自己株式処分により自己株式が15,464千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて7.2ポイント増加し、61.5%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の実績を踏まえ、2023年11月14日に公表しました通期業績予想を達成することが困難と判断し、業績予想を下方修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想値の修正に関するお知らせ」を御覧ください。

なお、配当につきましては、24円/株の配当予定に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	876,207	745,629
受取手形及び売掛金	719,924	628,050
電子記録債権	3,060	20,111
棚卸資産	2,428,371	1,930,116
未収還付法人税等	—	60,274
その他	212,285	153,066
貸倒引当金	—	△138
流動資産合計	4,239,850	3,537,110
固定資産		
有形固定資産	44,200	40,748
無形固定資産	68,418	67,766
投資その他の資産	56,659	51,110
固定資産合計	169,278	159,625
資産合計	4,409,129	3,696,735
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,590	80,234
短期借入金	1,300,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	199,599
未払金	285,315	368,959
未払法人税等	35,590	—
賞与引当金	18,044	—
その他	25,986	34,710
流動負債合計	1,728,526	783,504
固定負債		
長期借入金	—	350,566
退職給付引当金	33,562	36,492
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	287,897	641,394
負債合計	2,016,424	1,424,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,220	37,220
資本剰余金	273,468	273,586
利益剰余金	2,191,510	2,046,966
自己株式	△157,231	△141,766
株主資本合計	2,344,967	2,216,006
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	47,737	55,830
評価・換算差額等合計	47,737	55,830
純資産合計	2,392,704	2,271,836
負債純資産合計	4,409,129	3,696,735

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,358,436	6,720,083
売上原価	4,224,898	4,682,565
売上総利益	2,133,538	2,037,517
販売費及び一般管理費	1,887,450	2,124,801
営業利益又は営業損失(△)	246,088	△87,284
営業外収益		
受取利息	2	2
為替差益	24,988	—
助成金収入	—	871
固定資産売却益	1,038	—
受取補償金	386	548
還付加算金	77	411
その他	356	19
営業外収益合計	26,851	1,852
営業外費用		
支払利息	1,216	4,571
為替差損	—	13,819
固定資産除却損	428	—
自己株式取得費用	333	—
その他	39	1,489
営業外費用合計	2,018	19,879
経常利益又は経常損失(△)	270,920	△105,311
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	270,920	△105,311
法人税等	101,812	△32,646
四半期純利益又は四半期純損失(△)	169,108	△72,665

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（表示方法の変更）

（四半期損益計算書）

前第3四半期累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「還付加算金」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期累計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた434千円は、「還付加算金」77千円及び「その他」356千円として組み替えております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）
減価償却費	18,925千円	24,413千円